



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）出雲 充
 問合せ先責任者（役職名）取締役副社長（氏名）永田 暁彦（TEL）03(3454)4907
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	7,737	27.2	△508	—	△127	—	△196	—
2020年9月期第2四半期	6,081	△12.1	△360	—	△137	—	△143	—

（注）包括利益 2021年9月期第2四半期 △199百万円（－％） 2020年9月期第2四半期 △147百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	△2.10	—
2020年9月期第2四半期	△1.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	21,355	11,067	51.8
2020年9月期	15,351	9,386	61.0

（参考）自己資本 2021年9月期第2四半期 11,057百万円 2020年9月期 9,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	65.2	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（参考）調整後EBITDA

前回発表予想 2021年9月期 △630百万円

今回修正予想 2021年9月期 △200百万円

2021年9月期の業績予想は、売上高と調整後EBITDAの2つを公表致します。調整後EBITDAは、EBITDA（営業利益＋のれん償却費及び減価償却費）＋助成金収入＋株式関連報酬としています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	95,227,862株	2020年9月期	93,153,322株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	20,431株	2020年9月期	56,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	93,464,484株	2020年9月期2Q	92,848,942株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度は、ヘルスケア事業においては、2020年9月期下半期において、厳格な採算管理を維持した上で、広告宣伝及び販促活動への投資を機動的かつ積極的に実施したことで純増に転じた通販定期顧客からの商品購買による収益貢献により、セグメント売上高は増加を見込んでおります。また、エネルギー・環境事業においては、2018年10月に竣工したバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「実証プラント」）の本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。以上の結果、当連結会計年度の通期業績予想は、売上高は前期比で増加を見込むものの、将来的に収益の柱となるエネルギー・環境事業を含む先端投資領域への先行投資を継続するため営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する純損益のいずれも赤字を見込んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、概ね計画どおりの進捗であり、ヘルスケア事業において2020年9月期に純増に転じた通販定期顧客からの商品購買による収益貢献等の結果、売上高は7,737,424千円（前年同期比27.2%増）となりました。また、エネルギー・環境事業において実証プラントの運転費用の計上を主因として、同事業のセグメント損失320,088千円を計上しており、営業損失は508,594千円（前年同期は営業損失360,133千円）、経常損失は127,421千円（前年同期は経常損失137,600千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は196,068千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失143,576千円）となりました。

なお、キャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当連結会計年度より開示指標に当社のキャッシュ・フロー創出力を示す指標として調整後EBITDAを追加しております。調整後EBITDAは、EBITDA（営業利益+のれん償却費及び減価償却費）+助成金収入+株式関連報酬として算出しております。当第2四半期連結累計期間は、ヘルスケア事業において収益を確保するために広告宣伝及び販促活動への投資をコントロールするとともに、エネルギー・環境事業を中心に325,033千円の助成金収入を計上した結果、調整後EBITDAは215,769千円（前年同期は212,264千円）となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間から当第2四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上高（千円）	2,862,819	3,454,269	3,781,124	3,910,679	3,826,744
営業損益（千円）	△115,791	△733,932	△713,654	△365,530	△143,064
経常損益（千円）	78,793	△684,446	△635,642	△306,434	179,012

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業においては、2020年9月期上半期に直販チャネルにおける広告宣伝効率や有期間定期顧客割合の増加による定期購入継続率の改善が進んだこと、主力の健康食品ラインアップをユーグレナ食品ブランド「からだにユーグレナ」としてリニューアルしたこと、デジタルマーケティングや素材や商品の認知拡大に向けたマーケティング施策を展開する体制が整ったことを踏まえ、同下半期において、厳格な採算管理を維持した上で、持続的な事業拡大に向けた再成長を目指して広告宣伝及び販促活動への投資を機動的かつ積極的に実施しました。

当第2四半期連結累計期間は、期初の計画どおり、2020年9月期下半期における積極的な広告宣伝及び販促活動への投資によって純増に転じた定期顧客数からの商品購買による収益貢献が実現しました。また、主力ブランドである「からだにユーグレナ」についてはTVCMを展開するなど投資を強化する一方、その他のブランドについては投資をコントロールしながら収益を確保することで、ポートフォリオ全体で持続的な売上成長と利益成長の両立を図ってまいりました。

ヘルスケア事業のM&Aにおいては、「Sustainable Wellness（サステナブル・ウェルネス/持続可能な、すこやかさ）」をビジョンに掲げ、素肌で暮らす心地よさを提案するスキンケアブランド「あきゅらいず」などを展開する株式会社LIGUNAを、2021年3月1日付で連結子会社化しました。また、2021年2月1日付で、当社、株式会社アドバンテッジパートナーズがサービスを提供するファンド及び東京センチュリー株式会社が共同で出資した特別目的会社である株式会社Q-Partners（以下「Q-Partners」）が、キューサイ株式会社（以下「キューサイ」）の全発行済株式を取得しました（以下「本株式共同取得」）。当社は、本株式共同取得完了から約1年以内にQ-Partnersへの出資比率を12.84%から49%まで引き上げ、Q-Partnersを通じてキューサイを連結子会社とすることで、キューサイの企業価値向上の加速化と当社とのシナジー創出を目指してまいります。

以上の結果、セグメント売上高7,726,098千円（前年同期比27.2%増）、セグメント利益は400,028千円（前年同期比9.7%減）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に、2020年3月に本格稼働を開始した実証プラントによりバイオ燃料の実証研究、実証製造に取り組んでいます。研究開発活動については、2020年10月に、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「バイオジェット燃料生産技術開発事業/実証を通じたサプライチェーンモデルの構築、微細藻類基盤技術開発」に、当社が進めているバイオジェット燃料製造の実証事業及び燃料用微細藻類の海外培養実証に関する研究開発が採択されました。また、2021年3月に、実証プラントにおいて、ASTM D7566 Annex6規格(微細藻類や廃食油などの生物系油脂を原料としてBICプロセスにより製造した純バイオジェット燃料に対してASTM Internationalが定める国際規格)に適合した微細藻類ユーグレナ等由来のバイオジェット燃料が完成しました。バイオディーゼル燃料は2020年4月より先行して供給を開始していましたが、バイオジェット燃料に関しても供給開始の目途が立ったことから、2021年内のフライト実現に向けて、航空運送事業者や航空局等との最終調整を進めています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、セグメント売上高は11,325千円(前年同期比10.7%増)、実証プラントの運転費用の計上等により、セグメント損失320,088千円(前年同期はセグメント損失349,899千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,355,264千円となり、前連結会計年度末と比較して6,004,165千円の増加となりました。

負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末から4,323,896千円増加し、10,288,235千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から1,680,269千円増加し、11,067,028千円となりました。この結果、自己資本比率は51.8%となりました。

当社は、2021年1月26日にQ-Partnersへの出資を行いました。海外募集による新株式発行により2021年4月22日を払込期日として13,100,051千円を調達し、Q-Partnersへの出資を資金用途とした短期借入金2,800,000千円についても2021年4月30日に全額を返済しており、十分な手元資金を確保していることから事業の進捗に重要な影響はありません。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から2,071,068千円減少し、4,182,831千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加98,800千円、助成金の受取額291,947千円、法人税等の還付額181,083千円等により、362,513千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出3,004,932千円等により、5,938,696千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加2,800,000千円等により、3,123,042千円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「コールオプション行使によるキューサイ株式会社の連結子会社化プロセス開始に関するお知らせ」の内容及び最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月13日に公表しました2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、本日別途公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,253,900	6,982,831
受取手形及び売掛金	1,076,070	1,174,985
商品及び製品	805,920	1,171,334
仕掛品	44,636	82,689
原材料及び貯蔵品	949,842	872,714
その他	669,477	631,378
貸倒引当金	△8,292	△17,540
流動資産合計	9,791,554	10,898,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,068,137	3,849,689
機械装置及び運搬具	1,488,471	1,530,437
工具、器具及び備品	391,575	402,766
土地	900,520	1,219,520
リース資産	25,946	25,946
建設仮勘定	6,253	5,907
減価償却累計額	△2,576,423	△2,892,334
有形固定資産合計	3,304,480	4,141,931
無形固定資産		
のれん	961,239	1,968,509
その他	598,358	666,219
無形固定資産合計	1,559,597	2,634,728
投資その他の資産		
投資有価証券	319,946	3,340,960
差入保証金	283,979	226,284
繰延税金資産	8,291	1,162
その他	83,248	111,802
投資その他の資産合計	695,465	3,680,209
固定資産合計	5,559,543	10,456,870
資産合計	15,351,098	21,355,264

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,402	399,822
短期借入金	547,425	3,457,419
未払金	935,975	1,041,141
リース債務	291	170
未払法人税等	8,500	122,772
賞与引当金	28,800	39,103
ポイント引当金	22,200	69,167
資産除去債務	24,620	—
その他	332,185	386,444
流動負債合計	2,160,401	5,516,041
固定負債		
長期借入金	3,216,532	4,104,169
リース債務	24	—
退職給付に係る負債	19,839	19,568
資産除去債務	399,080	431,098
繰延税金負債	164,805	214,391
その他	3,656	2,967
固定負債合計	3,803,938	4,772,194
負債合計	5,964,339	10,288,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,323,548	7,328,859
資本剰余金	2,229,643	4,063,594
利益剰余金	△84,993	△288,775
自己株式	△94,737	△34,282
株主資本合計	9,373,460	11,069,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,802	△2,085
為替換算調整勘定	△8,227	△9,462
その他の包括利益累計額合計	△10,029	△11,547
新株予約権	13,556	1,260
非支配株主持分	9,771	7,919
純資産合計	9,386,758	11,067,028
負債純資産合計	15,351,098	21,355,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,081,922	7,737,424
売上原価	1,701,515	2,073,181
売上総利益	4,380,407	5,664,243
販売費及び一般管理費	4,740,541	6,172,838
営業損失(△)	△360,133	△508,594
営業外収益		
受取利息	488	525
助成金収入	212,868	325,033
受取手数料	10,500	1,500
その他	30,397	78,475
営業外収益合計	254,254	405,535
営業外費用		
支払利息	6,069	14,808
持分法による投資損失	25,627	8,853
株式交付費	—	369
その他	24	330
営業外費用合計	31,721	24,362
経常損失(△)	△137,600	△127,421
特別利益		
新株予約権戻入益	—	12,296
固定資産売却益	365	299
持分変動利益	12,856	—
特別利益合計	13,221	12,596
特別損失		
固定資産売却損	—	256
関係会社株式評価損	1,027	—
特別損失合計	1,027	256
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,405	△115,081
法人税、住民税及び事業税	124,706	74,622
法人税等調整額	△106,900	4,391
法人税等合計	17,805	79,013
四半期純損失(△)	△143,211	△194,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	364	1,973
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△143,576	△196,068

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△143,211	△194,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	△282
為替換算調整勘定	△3,740	△6,715
持分法適用会社に対する持分相当額	△732	1,654
その他の包括利益合計	△4,584	△5,342
四半期包括利益	△147,796	△199,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,210	△197,586
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,586	△1,852

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,405	△115,081
減価償却費	269,776	292,344
のれん償却額	75,653	84,753
株式報酬費用	6,599	24,483
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	8,448
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,827	3,513
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△383	△270
受取利息及び受取配当金	△545	△526
助成金収入	△212,868	△325,033
新株予約権戻入益	—	△12,296
支払利息	6,069	14,808
持分法による投資損益(△は益)	25,627	8,853
売上債権の増減額(△は増加)	180,329	△15,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,296	△109,928
仕入債務の増減額(△は減少)	△134,907	98,800
未払金の増減額(△は減少)	△236,831	△36,549
未払又は未収消費税等の増減額(△は増加)	△22,850	13,502
関係会社株式評価損	1,027	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△365	△43
持分変動損益(△は益)	△12,856	—
その他	△86,024	△2,130
小計	△263,480	△67,812
利息及び配当金の受取額	103,825	496
利息の支払額	△2,953	△19,241
助成金の受取額	186,770	291,947
法人税等の還付額	37,212	181,083
法人税等の支払額	△345,984	△23,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	△284,610	362,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,800,000
定期預金の払戻による収入	42,329	—
有形固定資産の取得による支出	△89,086	△52,726
有形固定資産の売却による収入	854	395
無形固定資産の取得による支出	△35,148	△120,833
投資有価証券の取得による支出	—	△3,004,932
差入保証金の回収による収入	—	68,452
差入保証金の差入による支出	△8	△1,874
資産除去債務の履行による支出	—	△30,200
その他	1,649	3,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,409	△5,938,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,800,000
長期借入れによる収入	—	610,000
長期借入金の返済による支出	△234,238	△286,812
リース債務の返済による支出	△446	△145
非支配株主からの払込みによる収入	50,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,684	3,123,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,290	3,497
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△547,414	△2,449,643
現金及び現金同等物の期首残高	7,791,799	6,253,900
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△132,266	—
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	378,574
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,112,119	4,182,831

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,071,690	10,231	6,081,922	—	6,081,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,071,690	10,231	6,081,922	—	6,081,922
セグメント利益又は損失(△)	442,943	△349,899	93,044	△453,177	△360,133

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△453,177千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,726,098	11,325	7,737,424	—	7,737,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,726,098	11,325	7,737,424	—	7,737,424
セグメント利益又は損失(△)	400,028	△320,088	79,940	△588,535	△508,594

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△588,535千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。